



しののめYMCAこども園 園だより

2021年度1月号

発行者こども園園長 堀江和広

聖句 「互いに愛し合いなさい」

わたしがあなたがたを愛したように、互いに愛し合いなさい。

これがわたしの掟である。

1月聖句 子よ、元気を出しなさい。 マタイによる福音書9章2節

あけましておめでとうございます。今年もどうぞ宜しく願い申し上げます。

初日の出をご覧になりましたでしょうか。今年も眩しくそして美しい日の出でした。

以前にもお話致しましたが、私達は新たな決意や願いを1年のうちで三回、思い巡らせる機会があると言われていました。それは「元旦」・「自身の誕生日」・そしてお仕事している方であれば「年度初め」と言われています。そういう事から元旦は、今年の想いや願い、そして決意を新たに作る時と言えます。

昨年は、誰もが終息するであろうと思っていた新型コロナウイルスでしたが期待に反し、一昨年同様、又はそれ以上の影響を私達の日常生活や、こども園の保育、園行事、イベント等に大きな影響を与えました。

然しながらその様な厳しい状況のなか、一昨年の経験を活かし、諦めるのではなく「どうしたらできるようになるのだろうか」と言う前向きな発想に切り替え取り組んできました。その結果、休止していた「おひさま会」や「コーラスグループすまいる」の活動が復活し、さらに「しののめ祭り」が、「みらいを守ろう SDGsチャリティーマルシェ」に変容し、SDGsを理解し取り組む事が出来ました。また「チャリティーラン」では、新しいTシャツがデザインされ、車いすの話やブラインドウォークでの体験を通じて、沢山の事に気づき理解を深める事ができました。発想を切り替えて、違う角度から観て考え、行動する事の大切さに気づいた年であったと思います。

今年も新年早々、オミクロン株の流行により第6波が予想されています。今までの発想や取り組み方、そして保育の展開も今まで以上に知恵を絞り、工夫する事が求められる年ではないかと感じています。今年のこども園は「新しい発想と継承」を大切にしながら、保育展開をしていきたいと考えております。今年もご理解ご協力をお願い申し上げます。

園長 堀江和広